

◆ 比較文化学部について

比較文化学部の構成と特徴

比較文化学部は比較文化学科と日本語・日本文化学科の2学科から構成され、比較文化学科は、人文科学、国際ビジネス・経済、社会科学の3つの専攻 (Major) があり、「比較」という手法を用いて美術史、文学、宗教・哲学、文化人類学・社会学、歴史学、国際政治学・国際関係論、国際ビジネス・経済について、幅広く学ぶことができる学科である。一方、日本語・日本文化学科は、日本を焦点として、日本語教育、言語学や日本の歴史、政治、社会、文化を多角的に学ぶ学科である。

本学部では完全セメスター制を採用し、語学の授業を除きすべての授業は英語で行っている。

所属学科の決定

比較文化学部入学者は、3学期 (2年次前半) 終了時に、上記の2学科のいずれかを選択し、所属学科を決定する。

履修上の注意

学部共通基礎科目 (FCC Core Program) の履修

入学時に実施される英語プレイスメントテストの結果に応じて、学部共通基礎科目のクラス分けが行われる。すべての学生は、下記の学部共通基礎科目 (各4単位) が必修となっている。

ENG111 English Composition 1

ENG112 English Composition 2

ENG115 Public Speaking

THP101 Thinking Processes

- ・ 原則として2年次終了時までまでに修得すること。
- ・ 指定されたクラスを登録すること。
- ・ Basic Skills (Reading) およびBasic Skills (Writing) 各2単位は学科選択科目として含める。
- ・ English Composition 1または2の履修を免除された場合は、免除された単位数と同数の単位を学科選択科目として修得しなければならない。

他学部他学科開講科目の履修について (02~05年次生)

全学共通科目、他学部他学科の学科科目、外国語科目の単位は、全学共通科目および学科選択科目として20単位まで含めることができる。ただし、全学共通科目の保健体育科目、情報リテラシー科目および外国語科目、また、それぞれMajor科目として記載されている他学部他学科の学科科目はこの20単位に含まない。

2006年度から教職課程・学芸員課程において独自に開講されている科目 (620000番台) については卒業単位としないので注意すること。なお2005年度以前に当該科目を履修した場合は卒業単位に含むことができる。Bulletin of Information 2011-2012を参照すること。

履修中止 (Withdrawal) の申請ができない科目について

情報リテラシー、保健体育科目、学部共通基礎科目 (BASIC SKILLSを含む) は履修中止の申請ができない科目なので注意すること。他学部他学科についてはそれぞれの学科のページを、一般外国語教育センター開講の外国語科目については要覧共通編p.123を参照すること。

全学共通科目について

比較文化学部のBulletin of Information 2011-2012をよく読むこと。特に下記の点について注意すること。

- ① 人間学について
人間学 I・II を履修していないものは、「キリスト教人間学」(p.393を参照) から4単位を履修すること。
- ② 外国語科目について
中国語、フランス語、イスパニア語、アラビア語、ドイツ語、インドネシア語、ロシア語、フィリピン語、ロシア語、ポルトガル語、ラテン語、イタリア語から1か国語を選択し、8単位修得すること。ただし、中国語、フランス語、イスパニア語については、国際教養学部開講の科目を履修すること。
 - ・ 日本語が母国語でない学生は日本語を外国語科目として8単位履修すること。日本語については、8単位以上修得した場合は、学科選択科目 (SE Electives) または学科選択必修科目 (Major) として認める。所属学

- 科の卒業要件を確認すること。
- ・ 同一の外国語を8単位以上修得した場合、その上級レベルの単位について4単位までそれぞれの学科選択科目として認める。
 - ・ 全学共通科目の外国語として選択したものを除く外国語（同一のもの）は、8単位までそれぞれの学科選択科目として認める。
 - ・ 2009年度から、イタリア語を外国語科目として8単位修得することができる。
- ③ 学部指定科目（General Studies Distribution Courses）について
「歴史と文化（The Legacy of the Past）」、「伝統と教養（Cultural Traditions）」、および「現代社会（The Contemporary World）」の3つの科目群からそれぞれ1科目（4単位）を選択し、合計12単位を修得すること。
- ④ 学科科目で全学共通科目として指定した科目（GS Distribution and Elective courses）に変更があるので注意すること。全学共通科目として指定していた年度に該当の科目を履修した場合は全学共通科目として認める。

履修証明の取得について

2006年度から所定の単位を履修した場合、申請に基づき日本研究履修証明と日本語教授法履修証明を取得することができる。Bulletin of Information 2011-2012 p.70-p.74を参照すること。